

令和8年度 就学援助費に係る収入額・需要額調書

(整理番号No.)

私の世帯状況については下記のとおり相違ありません。

申請者(保護者) 氏名		現住所 砺波市		児童生徒氏名		学校名・学年・組 学校 年 組		※都道府県の地域区分 (I, II, III, IV, V, VI) 地域の級地区分(3級地-1)			学校長認印				
世帯の収入状況				世帯の状況				需要額等							
		氏名	生年月日 (満年齢)	性別	続柄	勤務先又は職業 在学学校名・学年(特支級の在籍)	教育扶助基準 基準額	教材代	学校給食費	通学費	生活扶助基準				
							円	円	円	円	第1類	期末一時扶助費	障害者/母子加算額	※ 第2類	
所得控除前	総所得金額	円	(M,T,S,H,R) 年 月 日 (満 才)		本人 (保護者)						円			h (基準額)	
	退職所得金額	円	(M,T,S,H,R) 年 月 日 (満 才)											i (地区別冬季 加算額)	
	山林所得金額	円	(M,T,S,H,R) 年 月 日 (満 才)												
	計	A 円	(M,T,S,H,R) 年 月 日 (満 才)											j 生活扶助基準額合計 (e×通減率、f~jの合計)	
所得控除	社会保険料	円	(M,T,S,H,R) 年 月 日 (満 才)												
	小規模企業共済等掛金控除 雑損控除	円	(M,T,S,H,R) 年 月 日 (満 才)											k 住宅扶助基準	
	生命保険料 地震保険料 ひとり親又は寡婦控除の額 (※保護者等のみ)	円	(M,T,S,H,R) 年 月 日 (満 才)												
	計	B 円	(M,T,S,H,R) 年 月 日 (満 才)											※ l 需要額 (a~d, i, k)の合計	
所得額(A-B)	C※ 円	(M,T,S,H,R) 年 月 日 (満 才)													
収入額(C×1/12)	D※ 円	(M,T,S,H,R) 年 月 日 (満 才)												※ 収入額 需要額	
		住宅形態	1. 持家 2. 借家 3. 社宅 4. 公営住宅 上記2、3、4の場合 1ヵ月の家賃(円)												D T=
(通学費を要したものに記入すること)		*昨年度、援助費を受けていた・受けていない(いずれかに○)				合計	a ※	b ※	c ※	d ※	e ※	f ※	g ※		
通学費 明細	申請理由 1. 生活保護を受けている(年 月 日から) 2. 前年度以降、生活保護の廃止または停止の決定を受けた 3. 市県民税が非課税または減免されている(世帯全費) 4. 児童扶養手当を受給している 5. 収入額が少なく、経済的に就学が困難である 6. 保護者が死亡し、生活が困難である(年 月 日死亡) 7. 保護者が病気療養中で、生活が困難である 8. その他(認定の判断に必要なため、できるだけ詳しく記入してください) (理由:)														

○記入上の注意 イ. この調書は、就学援助費の支給を受けるために必要ですから、正確に記入してください。

ロ. 申請者は太枠内のみ記入してください。

ハ. 続柄が「本人」の欄は、申請者(保護者)としてください。